

## ★★ シンク・クリスタルサーフェス材質 ★★

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
この取扱説明書はいつでも御覧になれる場所に、大切に保管してください。

### 1 安全上のご注意 (必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつく恐れがあります。必ずお守りください。

#### 警告

**禁止** お客様自身で絶対に分解・修理・改造は行わないでください。  
ケガや事故が生じる恐れがあります。  
修理はお求めの販売店へご連絡ください。



**禁止** シンクの上に乗らないでください。  
シンクが破損し、ケガをする恐れがあります。



#### 注意

**注意** 給排水工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。  
漏水の原因になることがあります。

**注意** 小さなお子さま、介助が必要な方、高齢の方がお使いになる際は、介助の方が付き添ってください。  
思わぬケガをする恐れがあります。

**注意** 組込まれる電気製品・水栓等については、各説明書及び本体の表示されている事項を守り、正しく設置してください。  
思わぬ事故や障害の原因になることがあります。

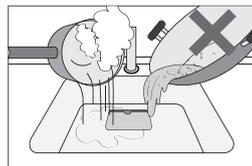


①

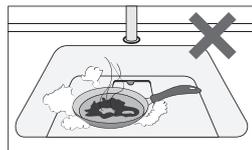
②

### 2 使用上のご注意 (必ずお守りください)

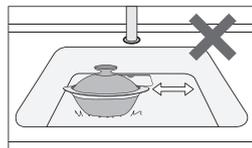
**禁止** 高温の油や熱湯を絶対に流さない。  
排水装置や排水パイプは樹脂製のため、傷んで水漏れや詰まりの恐れがあります。  
茹でこぼし等の作業は水を流しながら行ってください。特に高温の油は絶対に流さないでください。



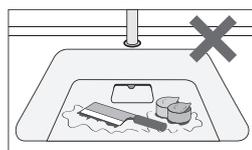
**禁止** 熱いフライパン等をシンクの中に直接置かない。  
シンクの中に熱いフライパン、土鍋や沸騰したやかんなど、熱いものを同じ所に直接置き続けると変色や割れの原因になります。



**禁止** 調理器具や食器等を引きずらない。  
シンクの中で鍋や大皿等を引きずると、シンクの表面に傷がつく場合があります。



**禁止** ぬれた鉄製品を絶対に放置しない。  
ぬれた包丁や缶やフライパン等は長時間放置しないでください。サビが移り、除去できない恐れがあります。

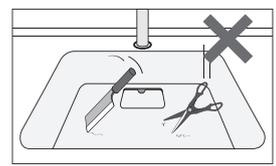


**禁止** 固形または粉末の洗浄剤・漂白剤・ヌメリ取り剤は使ったり近づけたりしない。  
腐食や劣化の原因になります。

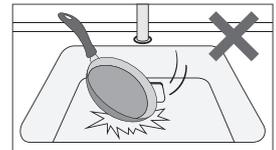


**禁止** ゴム製品やゴム脚のついている製品を長時間置かない。  
接地面が変色する恐れがあります。直接触れないよう、置き方を工夫してください。

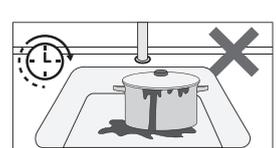
**禁止** 硬く鋭利な物・砂・貝殻等を押し付けたり落としたりしない。  
傷がつく恐れがあり、汚れが取りづらくなります。



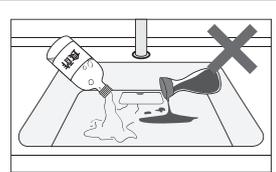
**注意** 強い衝撃を与えない。  
シンクに鋭利な物・重い物を落とすと、傷つき・変形・割れにより、ケガをする恐れがあります。



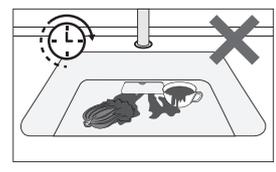
**実行** シンクの上に水滴や汚れを残したままにしない。  
水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。



**実行** 塩分の強い物やアルカリ性・酸性の洗剤等はすぐに洗い流す。  
醤油・食酢・調味料・梅干し等塩分の強い物や洗剤はすぐに水で洗い流してください。放置すると変色の恐れがあります。



**実行** 色の濃い食材（キムチ、カレー、紅茶、コーヒー等）や汚れや色の濃いふきん類の染料が付着した場合は、すぐに洗う。  
色素の濃い食材は特に注意してください。長時間放置すると落としにくくなります。

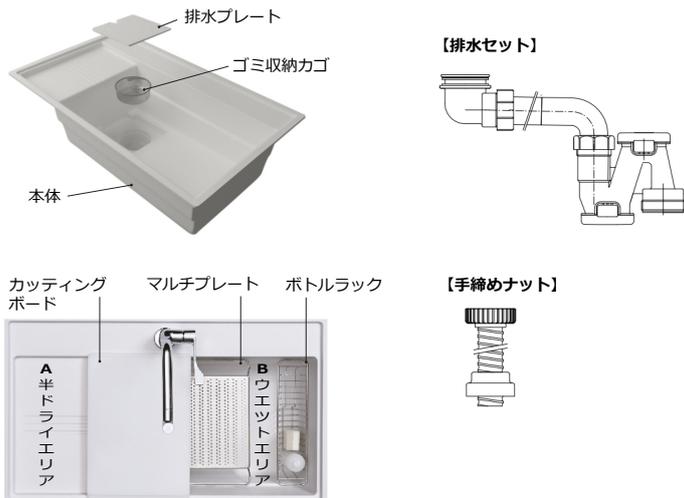


③

④

### 3 各部の名称

※図は製品の例示であり、実際の製品と異なる場合があります。  
※水栓金具の取扱説明書に従ってご使用ください。



#### ■シンクの付属品の使い方

- ・マルチプレートや水切りプレート、ローデッキプレートに重い物をのせたり、まな板の代わりに使用しない。  
変形または落下によるケガの原因になります。
- ・シンク用オプション品やキッチンカウンターを跨いで物を置かない。  
落下する恐れ、シンク周りの傷やカケの原因になります。
- ・水切りプレートやボトルラックに金属製の物を長時間放置しない。  
もらいサビの原因になります。
- ・カuttingボードの上に直接熱い鍋を置かない。  
変色・変形する恐れがあります。
- ・洗剤をステンレス部分に長時間放置しない。  
変色する恐れがあります。

### ■お手入れ方法

風合いを維持するためにも、こまめなお手入れが美しさを保つ秘訣です。

#### お手入れの2ステップ

##### ①水拭き



##### ②乾拭き



商品	お手入れ内容
シンク	<p><b>【通常のお手入れ】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.水を含んだ布で拭き取ってください。</li> <li>2.最後に乾いた布で乾拭きをしてください。</li> </ol> <p><b>注意：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。</li> <li>・こまめにお手入れしてください。</li> </ul> <p><b>【落ちにくい汚れ】</b></p> <p>下記手順で行ってください。除去できない場合、段階的に次のステップでお手入れしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.中性洗剤（台所用）をつけて柔らかい布またはスポンジで汚れを拭き取ります。</li> <li>2.ナイロンたわしで軽く擦ります。（強くするとテカリが発生）</li> <li>3.やむを得ずクリームクレンザー等の研磨剤入りの洗剤を使う場合は軽く全体的に擦ります。（部分的に強くするとテカリが発生）</li> </ol> <p><b>注意：</b>いずれも最後に水洗いを行い、洗剤を完全に除去し、乾いた布で拭き取ってください。</p> <p><b>【細かな傷がついた場合】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.やむを得ずクリームクレンザー等の研磨剤入りの洗剤を使う場合は軽く全体的に擦ります。（部分的に強くするとテカリが発生）</li> <li>2.最後に水洗いを行い、洗剤を完全に除去し、乾いた布で拭き取ってください。</li> </ol> <p><b>【深い傷がついた場合】</b></p> <p>深い傷や欠けが発生した場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。傷・欠けの状況によっては、修理ができない場合もあります。</p> <p><b>【油性の汚れの場合】</b></p> <p>油性マジック、マニキュア、たばこのヤニ等の油性の汚れはアルコール、ベンジン又はマニキュアリムーバーをティッシュ又はガーゼに含ませ拭き取ってください。</p> <p><b>注意：</b>いずれも最後に水洗いを行い、洗剤を完全に除去し、乾いた布で拭き取ってください。</p>

### 4 お手入れ

#### ■用具

- ◎ ご使用できます。
- ▲ やむを得ない時のみご使用できます。
- ✕ ご使用できません。擦ると表面に傷がついてしまう恐れがあります。

柔らかい布 (メカネ拭きに 利用する ような布)	ウレタン スポンジ (スポンジ部)	ネット スポンジ	ナイロン タワシ 研磨粒子無し	ナイロン タワシ 研磨粒子有り	メラミン スポンジ	金属 タワシ
◎	◎	◎	◎	▲	✕	✕

※右にいくほど、硬い

#### ■洗剤

- ◎ ご使用できます。
- ▲ やむを得ない時のみご使用できます。
- ✕ ご使用できません。研磨剤入りの洗剤が付着し、乾燥してしまうと、白い跡が表面に付着し、落ちない恐れがあります。すぐ水拭きしてください。

食器用洗剤	台所回り用洗剤	食卓用洗剤 家具用洗剤	クリーム クレンザー	粉末 クレンザー
弱酸性～ 弱アルカリ性	弱アルカリ性	中性～ 弱アルカリ性	弱アルカリ性	弱アルカリ性
汚れ落とし	油汚れ・ 水アカヌメリ・ 除菌・消臭	汚れ落とし・ 除菌	こびりついた 汚れ・油汚れ・ 水アカ	しつこい汚れ・ 油汚れ
十分な流水で流せる 部位で使用できます。 手アカ予防は弱酸性が 有効です。必ず水拭き が必要です。	流水で洗い落と せない部位でも 使用できます。 水拭きが必要 です。	あらゆる場所 の日常のお掃除 でご使用でき ます。	細かい粒子が 汚れをかき落 とします。	液体クレンザー よりも粒子が粗 く強い研磨力で 落とします。
◎	◎	◎	▲	✕

商品	お手入れ内容
排水 セット	<p><b>！ 実行</b></p> <p>ゴミ収納カゴのゴミはこまめに捨ててください。 ゴミをためたままにしておくと、かび・ヌメリの発生や排水の流れが悪くなる原因となります。</p> <p><b>⊘ 禁止</b></p> <p>酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤や漂白剤、ヌメリ取り剤は使用しないでください。 ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。</p> <p><b>【週1回程度】</b></p> <p>詰まりの予防のため、以下のお手入れをしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.排水プレートやゴミ収納カゴを取り外します。</li> <li>2.洗剤を薄めたぬるま湯をシンク（洗いおけや大鍋）にため、一気に流します。</li> <li>3.洗剤が残らないようにシンクを水洗いします。</li> </ol> <p><b>【月1回程度】</b></p> <p>市販のパイプ洗浄剤で洗浄してください。長時間汚れを放置すると、悪臭・水もれの原因となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ゴミ収納カゴは取り外し、洗浄剤を使用してください。</li> <li>2.洗浄後は十分水洗いをしてください。</li> </ol> <p><b>【汚れている場合】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.中性洗剤（台所用）を含ませたスポンジで排水プレート、アミカゴを洗います。 ※ ゴミ収納カゴは、歯ブラシで磨くと汚れが落ちます。</li> <li>2.水で洗剤を洗い流します。</li> </ol>

#### 吉本産業株式会社

受付時間：9:00～17:30（土日、祝日、夏季休業、年末年始を除く）

本社・R&D・LABO  
〒578-0903  
大阪府東大阪市今米1丁目13-8  
TEL：072 967 2001  
FAX：072 967 2003

東京営業所・LABO  
〒105-0011  
東京都港区芝公園1丁目2-9(株)J&F  
TEL：03 3434 1700  
FAX：03 3434 1710

